

大迫力の花火体験をふるさと納税で 観覧チケットが8月8日からお礼品に

市は8月8日(金)から、9月21日開催の水都くらわんか花火大会観覧チケットをふるさと納税のお礼品として提供を開始した。チケットはイス席やテーブル席など計4種類で、寄附額は16,000円～108,000円。平成15年に一度途絶えた花火大会が、市民や企業、ボランティアの力で再び立ち上がり「水都くらわんか花火大会」として令和4年に復活。今年で第4回を迎える。本市を含めた3市で昨年生まれた子ども4,965人の数に、追悼の思いを込めた100発を加えた計5,065発の花火が打ち上げられる。市担当者は「お礼品とすることでより多くの人に知ってもらい、地域への愛着や繋がりが育まれることを願っている」と話す。

★市では同花火大会の開催をふるさと納税を通じて応援するため、枚方会場の有料席チケットの一部をお礼品として提供。イス席やテーブル席など計4種類、寄附額16,000円～108,000円のチケットを用意する。8月31日までの期間に、各ふるさと納税ポータルサイト等で受付中。

【開催概要】

- 名称：第4回 水都くらわんか花火大会
- 日程：2025年9月21日(日)
- 会場：淀川河川公園(大阪府枚方市会場)(予定)
- 主催：一般社団法人水都くらわんか花火大会
(URL：<https://suito-kurawanka.jp/>)



昨年の花火大会の様子

★淀川河川敷で長年親しまれてきた花火大会は、平成15年を最後に一度途絶えた。12年の時を経て、一般社団法人Light Up Osaka(現一般社団法人水都くらわんか花火大会)が中心となり、平成27年に75発の小規模な花火打ち上げから復活への歩みを進めた。その後、市民・企業・行政・ボランティアが力を結集し、令和4年に新たなかたちで「水都くらわんか花火大会」として再出発。回を重ねるごとに規模も盛り上がりも拡大しており、今年はドローンショーも同時開催予定。

★花火の発数は、枚方市・高槻市・交野市で前年に誕生した子どもの数に基づき決定される。今年は、令和6年に生まれた子ども4,965人の数に、追悼の思いを込めた100発を加えた、合計5,065発が打ち上げられる。

<お問い合わせ>

市長公室 広報プロモーション課

☎：072-841-1258 FAX：072-846-5341 Mail:kouhou@city.hirakata.osaka.jp